



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.96 2020年4月



3月議会終わる

市バス敬老パス

一部有料化に反対するも可決

昨年の12月から、みなさんと一緒に集めてきた、署名は短期間で3万筆以上集まりました。日本共産党高槻市議員団は敬老パスは今のままで継続をと訴えてきました。しかし、3月議会で反対した

のは、日本共産党市議員団を含め7人であり、一部有料化が可決されてしまいました。

私は47年間続いてきた制度を変えるのに、市民の意見も聞かず、説明会もないまま、一部有料化を

可決したことを心から怒りを覚えています。

来年の4月以降70歳になる人は74歳まで市バスに乗るたびに1000円支払うことになり(往復2000円)。これに対応するシステムを作るのに一億数千万円の経費がかかります。こんなお金があるのならば、今まで通りではいいのではないのでしょうか。

院など気軽に行けるので、わたしたち、若い世代も助かって「いる」などの皆さんの思いに答えることができなかったことは本当に残念です。

さらなる改善も

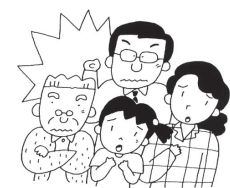
この間、お聞きした「家においても電気代や水道代がかかる。敬老パスを使っ
 て出かけてくると、知り合いも増えるし、退屈しない」「母が利用している。病

市バス審議会では、樫田や川久保、萩谷などの山間部路線の在り方についても今後の課題としています。そこに人が住んでいる以上、移動する権利を保障することが「公共交通の責任」です。山間部路線を守ること、民営化は絶対にさせないと決意を新たにしています。

暮らしに重い負担 国民健康保険料の値上げ

大阪府で統一料金にするため、高槻市の国民健康保険料が値上げになります。大阪府は6年間かけて統一していくというのですが、それでも毎年の値上げです。新年度は5・26%、3年間で12・54%の値上げです。新年度から一般会計から財源を入れれば、国からのペナルティが課せられ、支援金が減らされま

す。保険料も所得に対して高すぎて支払えない世帯が増えてきています。国会でも、高すぎる保険料のことは問題になっています。加入者のことを考えて、これ以上保険料を値上げすることは認められません。



お知らせ!

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した世帯への貸付制度があります。

○貸付金額 10万円以内 (特別な場合は20万円以内)

○無利子、連帯保証人は不要です。

※まず、社会福祉協議会へ相談を (電話：072-674-7496)

一般質問

高齢者の健康寿命を延ばして
住みよい高槻市を

できるだけ、健康で高齢期を過ごすことができるために何が
かということでも質問しました。

高槻市の
健康寿命は高い

高槻市の健康寿命は2016年度で女性が84.93歳、男性が80.25歳と大阪府内では高いといえます。高槻市はさらに健康寿命を延ばすため、10%受診者を増やすとしています。



健康寿命を
延ばすために、
健診率のアップを

健康な生活を送るためには、健康診断がかせません。高槻市は

現在、特定健診とがん

検診、どちらも無料で実施されています。しかし、ここ数年受診率は増えていません。

がんはいつたん重症化すれば、多額の医療費がかかります。多くの死因の中でがんは1位ですが、早期発見、早期治療すればほぼ100%完治するがんも増えていきます。がん検診が無料になり受診者は肺癌で5,216人、大腸がん2,744人増えてい

ます。しかし、目標値まではいっていません。わたしは、受診者を増やすための具体的な取り組みを求めました。

滋賀県の国民健康保険団体の調査では、①健診を受けている人の外来一人当たりの医療費は、年15,434円、②受けていない人は20,376円、入院は受けている人65,485円、受けていない人122,771円となっ

ています。この結果は健診を受けることで、健康を守ることにつながり、医療費の負担も少なくなり、国民健康保険の費用も減ることを示して

健診者が増えれば
医療費が減り、
市の負担も減る

この結果は健診を受けることで、健康を守ることにつながり、医療費の負担も少なくなり、国民健康保険の費用も減ることを示して

本会議質問

子ども食堂の補助要件をゆるやかに

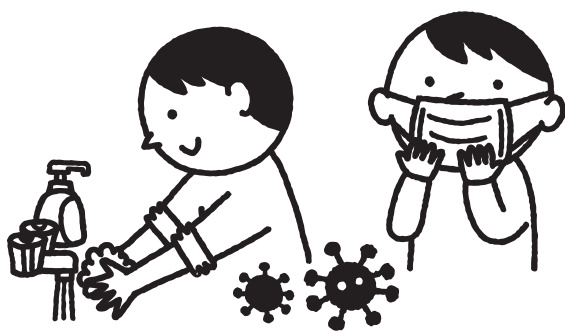
「子ども食堂」は子どもの貧困が問題となっている今日、様々な理由できちんと食事をとることができず、子どもだけでなく、家でも家庭でもなく、子どもが自分の居場所と思えるような第3の居場所ともいわれられています。全国でも、大阪府でも大きく増えていますが、高槻市では補助を受けている子ども食堂は1か所しかありません。

区組織を通じての取り組みと、商店や飲食店などへ、パンフレットを置くことや、街かど健康相談や出前講座を増やすこと、庁内あ

での取り組みが必要だと訴えました。皆さんもぜひ、健康診断を受けましょう。

実施回数、月2回というのが難しいのと書類の提出が煩雑だということでした。茨木市では、開催条件もゆるく、市のホームページには、ボランティアの募集なども掲載しています。

「子ども食堂」は子どもの貧困が問題となっている今日、様々な理由できちんと食事をとることができず、子どもだけでなく、家でも家庭でもなく、子どもが自分の居場所と思えるような第3の居場所ともいわれられています。全国でも、大阪府でも大きく増えていますが、高槻市では補助を受けている子ども食堂は1か所しかありません。



ご購入ください
しんぶん 赤旗

日刊紙 1ヶ月3,497円

日曜版 1ヶ月930円